



# 板倉を知る!!

いにしえ  
古から水と共に生きてきた板倉には、水辺の土地ならではの文化や歴史が生まれました。そんな水辺の歴史を学んでみましょう。



## あげぶね 揚舟

通常時は家の軒か、納屋の梁に太い麻縄で吊り下げておく舟を揚舟といいますが。水害が発生すると下ろして、住民や家畜、穀物等を水塚や近くの高台へ運びました。また、水中の稲を船刈りするのも利用されました。



## みつか 水塚

町の水郷文化を象徴する水塚は、水害のときに人や家財、食料、家畜などを守るために作られた建物です。土盛りをして主屋よりも3~5m高い場所に建てられました。1階が貯蔵場所で2階が居住場所となっています。



## 16通り前橋・北坪東橋(沈下橋)

谷田川に架かる橋であり中州を繋ぐ木橋。増水時に抵抗を少なくするための工夫として欄干を持たない構造。「モグリバシ」「イッポンバシ」とも呼ばれています。水場における良好な景観の一つ。構造は、木橋・コンクリート製橋桁。  
通り前橋：橋長 27.1 m、幅員 2.0 m  
北坪東橋：橋長 20.5 m、幅員 2.0 m



## 板倉村絵図 (1745年、荻野家文書 荻野貞雄氏蔵)

旧板倉村の古地図。土地の利用、屋敷や寺社の位置、道路・水路網が詳細に描かれています。絵図上での黒い太線は、谷田川の堤が連続堤ではなく、開いた状態になっており洪水時の越流水を板倉沼に排水する治水システムとなっています。水文化の古来の工夫が示されている貴重な絵地図です。現在は、板倉沼は埋め立てられ工業団地となっています。



## 17雷電神社

関東に多く点在する雷電神社の総本宮として広く信仰をあつめている神社で、地元では「雷電さま」と呼ばれ親しまれています。境内にある末社八幡宮稲荷神社は、県内最古の木造建築として国の重要文化財に指定されています。

なますさん



## 18高鳥天満宮

学問の神様である菅原道真を祀っています。社殿には、全国でも珍しいとされる百人一首の天井画があります。学問に霊験があるとされ合格祈願の絵馬や「願掛け撫で牛」が奉納されています。町指定重要文化財。

撫で牛



## 19宝福寺の木造性信上人坐像

像高 84.5cm、肩幅 40cm、伸び伸びとして大胆なノミさばきの木造です。底板と胎内に記された修理銘から鎌倉時代中期の作と思われます。性信上人は親鸞の弟子24輩中の第一高弟といわれています。親鸞の関東布教の第一歩は宝福寺からはじまりました。県指定重要文化財。



## 20三角縁仏獣鏡(県指定重要文化財)

江戸時代に西丘神社社殿建設時において赤城塚古墳から発掘され、神社の宝物として大切に保存されてきました。この鏡は、全国的にもめずらしく大変貴重なもので、直径は 22.8 cm、縁の断面が三角形、内側の紐(ちゆう)のまわりには三体の仏像と仙人そして四獣が描かれています。



# 板倉を味わう!!

## 川魚料理

多くの川や沼に囲まれている板倉町では、昔から川魚料理が有名でした。特に、ナマズの天ぷらやたたき揚げがおすすめ。



## きゅうり

全国有数の生産高を誇るきゅうり。だし汁と合わせた「きゅうりの冷や汁」は郷土の味として親しまれています。



## コシヒカリ

板倉町は、「群馬の米蔵」といわれ、コシヒカリをはじめとした様々な品種の米を作っています。



# 板倉を彩る!!

## カーネーション

全国でも有数の鉢物カーネーション産地です。大型小売店やコンビニのギフト用として出荷されています。母の日に向けて、赤やピンクを中心に、黄色やオレンジなどの色とりどりのものが出荷されています。



## 「上毛野伊奈良の沼のおほる草よそに見しよは今こそまされ」(『万葉集』巻14上野国東歌)



谷田川に群生するオオイグサ

伊奈良沼は、旧板倉沼をさし、『万葉集』巻14上野国東歌の中に登場します。歌中の「おほる草(オオイグサ)」の植物名は、「フトイ」と言い、カヤツリグサ科ホタルイ属に属します。湿地や浅い池などに生育する大柄な多年草で、高さは2m近くにもなります。地下茎は太くて横に這い、全体としてはまばらに花茎を立てて大きな群落を作ります。このように万葉集が詠まれた時代よりこの地は低湿地であったことが推察できます。さらに板倉中学校や南小学校の校歌にも謳われており、本地域における象徴的な植物です。